

上高プラスバンド部
韓国釜山で公演、喝采を受ける



管楽祭の様子

7月7日に韓国釜山市で開催された第27回釜山管楽祭に、県立上対馬高校のプラスバンド部が参加しました。同校は平成14年以来毎年この音楽祭に招かれており、今回で5回目の出演となります。

管楽祭では、「海へ・・・吹奏楽のために」「悪魔の踊り」の2曲と共に、「デヤン電子情報高等学校と合同で、I don't want to miss a thing」「青春アミーゴ」の2曲を演奏。観客から大きな喝采を受けました。

同プラスバンド部の大浦智

恵部長は「韓国の高校生はすごく積極的に接してくれて、充実した時間を過ごせた。本番では演奏後にたくさん拍手をいただき、音楽に国境がないことを身をもって実感した。今後も人に感動を与えられる、悔いのない最高の演奏をしていきたい」と感想を話しました。

(次ページに関連記事)

厳原ソフトバレー大会
ネット際の攻防に熱気!



今回で28回目の開催を数える厳原ソフトバレーボール大会が、6月25日、対馬市厳原体育館で開催され、男子の部に8チーム44人、女子の部に20チーム90人が参加しました。

好プレーが続出していました。



ソフトバレーボールは通常より大きく柔らかいボールを使用し、コートもバトミントンのコートを使用するなど初心者でも簡単に楽しめるスポーツ。

大会には、気のあう者同士や職場の仲間らとチームを組んだ選手たちが、家族の声援を受けながら大会を楽しんでいました。

《大会成績》

【男子の部】

優勝〃フアブリーズC

準優勝〃やまねこ

3位〃スズッキーズ

【女子の部】

優勝〃オレンジ

準優勝〃フラワーズ

3位〃楽喜(ラッキー)

上対馬高校舟グロ大会

郷土の伝統文化を高校生が体験



力を合わせて櫂を漕ぐ生徒たち

上対馬町大浦にある県立上対馬高校(筒井保之校長 生徒数172名)の恒例行事、舟グロ大会が7月16日、同町大浦漁港で開催されました。

風化しつつある地元伝統文化を体験し郷土への愛着心を育ててもらおうとの趣旨で行われているもので、今年で8回目の開催。同校の特色ある学校行事として注目されています。

大会はクラス対抗の部に8チーム、女子の部に4チームが出場。生徒たちは仲間と呼吸を合わせて櫂を漕ぎ、約120メートルの直



線コースでタイムを競いました。

会場には、多くの保護者、地元住民が詰めかけ、若者はつらつとした競技に声援を送っていました。その他にもPTA学年別保護者対抗戦も実施されました。

結果は、クラス対抗戦の部(優勝 3B、準優勝 3A)、女子の部(優勝 1年A)、保護者の部(優勝 1年生)でした。